

新年のご挨拶

代表 森屋治三

回 会 報

177号

新日本美術協会

事務局

千葉県柏市大津ヶ丘
3-17-17-401
森屋治三方
TEL04-7191-6760

編集委員

石原 修
早田美智子
篠 光定
湯澤朱美

原稿常時募集

次号令和4年5月予定

第四六回新日美展開催に思う



森屋 治三

あけましておめでと〜ござい
ます。会員の皆様には益々ご
清祥のことと存じお慶び申し
上げます。本年もよろしくお
願い申し上げます。

いま、美術界も大きな転換
期に差し掛かっております。一
昨年より発生した新型コロナ
ウイルスにより、二〇二一年も
展覧会開催を見送る団体が多
いなか、当会では、公募展とい
う文化活動を、可能な限り止
めてはならないという思いか
ら、第四五回記念新日美展を
開催致しました。
また一二月初旬には、引き

続き京都文化博物館におい
て、巡回展を開催し、好評を
得たところであります。しか
し、二〇二二年予定の第四六
回新日美展においても、厳しい
状況下の開催となることを想
定し、対応、準備を怠ってはな
らないと考えています。

いまこそ、創立の理念に掲げ
る「・美術文化向上発展に寄
与すること」「文化芸術活動
は、私共が生きていく上になく
てはならないものである」とい
うことを二〇二二年に留め、慣習に
捕らわれず、行動することが
最も求められる時代ではない
かと考えます。

第四五回記念新日美展も
終了し、所謂人生で申せば働
き盛りの域に達し、これからが
充実した、ゆるぎない中堅公
募団体としての実力を発揮す
る舞台に立ちました。

第四六回展では、会員の皆さん
と共に、具象、抽象を問わず、各
自の自由な発想のもとに制作した
作品で会場があふれ、活気ある本
展となるよう念願してやみませ
ん。
皆様のご健勝、ご活躍を祈念し
年頭の挨拶とします。

「コロナ禍の四五回記念展

苦境の中に

若手活躍の光

事業部長 永野 信



永野 信

近年の多くの公募団体展では会
員数や一般応募者の減少傾向が
続いています。新日美展では令和
元年の四三回展までは通常の状
況でした。

四四回展はコロナウイルスの蔓
延で休会となり、昨秋の四五回
展ではコロナ禍の中にあつて三割の
減少となり、一般応募者はこれま
での半数でした。

近年の高齢化と生活様式・文化
の変革期の中コロナ禍が強く影響
したと思います。

四五回展ではこれを開催するか
検討を重ねている間にも多くの会
員の退会、休会者が出ていて、こ
が頑張りどころと、首都圏の会
員、準会員、会友の皆さんの支援
を仰ぎ、搬入と審査・展示作業の
補助をお願いしましたが、これが
当会の若返りと、開かれた会の運
営にも繋がると考えています。

今回の展示作品は見慣れた作
品はなくなりましたが、いずれもフレッ
シユで、受賞作品は小作品の部も
含めて輝いていました。

これを機に今後の新日美展は搬
入から搬出までの一三日間の運営
とマンパワーに多くの会員、準会
員、会友も参加する、開かれた、
運営方針とし、出勤する日数も一
〇日以上出ることのない、それぞ
れが余裕のあるスケジュールとし、
制作意欲の湧く、新日美展にしよ
うではありませんか。

新日本美術協会
ホームページ



新日美展の記録
第45回 record of exhibition